



第5回いきいきスポレック大会
1月21日
48人が参加し、ラケットでスポンジボールを打ち合った。



古文書講座（入門編） 2月1日
古文書を初めて学ぶ人向けの講座が開催された。別日程で古文書経験者向けの講座も開催された。



第17回玉村町音楽フェスティバル
2月3日・4日
今年は「合唱の部」と「吹奏楽の部」が2日間に渡り開催された。



おっきりこみ体験 2月4日
降雪の影響で麦踏み体験が中止となり、郷土料理「おっきりこみ」試食体験が行われた。

文化財を火災から守る

文化財が火災になった場合の対処訓練が1月21日に玉村八幡宮で行われました。消防関係者や地元の自主防災組織などが参加し、有事に対し迅速に対処できるよう訓練しました。今回は初の試みとして、八幡宮職員と消防団、自主防災組織のみで連携して消火することを想定しました。玉村消防署職員は指導役となり、相互の動きを確認しながら訓練に携わりました。



縄跳びで熱戦

玉村町スポーツ少年団なわとび大会が2月3日に、社会体育館で開催されました。玉村町ライオンズクラブとスポーツ少年団が主催で今回で第30回目となり、競技種目の枠を超えてさまざまなチームなどに所属している小学生291人が参加しました。個人の時間跳びと二重跳び、団体の長縄跳びの部に分かれて競技が行われ、気温の低い体育館内が熱気に包まれました。



今月のたまたん

東京圏向けに企画された「玉村をめぐるツアー」が2月4日に開催され、道の駅玉村宿でツアー参加者の皆さんをお出迎えしました。

早春の三大祭り 2月11日（日・祝）



すみつけ祭 （上福島）

江戸時代元禄年間から始まったと言い伝えがあり、墨をつけられた人はその年、風邪や悪病にかからず無病息災で過ごせるとわれています。顔中に墨を塗りつけた大人や子どもが行列となり、地区内の家々をまわりました。



稲荷神社獅子舞 （上新田）

江戸時代元禄年間から伝わるものとされ、稲荷神社の春祭りに合わせて、氏子の安泰と五穀豊穡、悪魔払いを祈願して行われます。子どもらが披露する「剣の舞」の奉納に続き、今回は旧獅子頭を使った大人による舞も披露されました。



春 鋤 祭 （樋越）

農耕開始の祭礼としてその年の豊作をあらかじめ祝う祭りで、江戸時代以降伝えられてきたと考えられます。氏子らが餅を取り付けた榎の枝を鋤に見立て、畔塗りの動きで豊作を祝いました。最後には切り餅などが参加者らにまかれました。